

2024年6月

からし種

カトリック片瀬教会



## 教会家族

ブランチフィールド神父

5月31日、雨。

夜の雨や高潮で、川は水でいっぱい。落ち込んで、浮き上がって、流れていくものがたくさん。

昨日、櫻井さんのお葬式がありました。長い年月にわたって温かい心をもって共同体の仲間と関わった櫻井さんを見送るために、大勢の方が集まった。朗読の後「主は我らの牧者」と唱って、そして「シャローム、シャローム」と唱いながら、霊柩車を見送りました。

櫻井さん、天国の永遠の安らぎのうちに、私たちのために祈ってください。

ここで、みなさんに勧めたいことがある。教会共同体も家族でもある。受洗された上で、私たちは兄弟姉妹となります。ぜひともまだ自分の家族がクリスチャンでない場合、孫から始めて、自分の信仰の心を伝えてください。みんなに残す貴重な遺産として、信仰、神様との愛のある関わりにまざるものはない。

最後に、若いみなさんにアピールしたい。働きながらも、できるだけ共同体と関わりましょう。家族の中に、若い勢力はかけがないのものです。来られるときに、みんなとの温かい交わりに加わりましょう。



## 2024年6月度 教会委員会報告

開催日時：2024年5月19日(日) 12時00分～13時10分

出席者：ブランチ神父、委員長、財務、典礼、福祉、総務、宣教司牧、中高大青会、  
市内キリスト教連絡会 シャトル聖パウロ修道女会片瀬修道院 聖母訪問会

### □全体の報告および連絡事項

#### 1. 津波避難発生時の避難について

1) 避難場所に指定されている白百合学園の、教会道路側駐車場に面した非常扉及びその先にある校舎扉の鍵を預からせてもらうことができた。白百合学園に対し、「鍵の保管場所・利用に関する誓約書」を提出している。

① 鍵管理責任者は、司祭、正副委員長とする。

2) 5月26日の避難訓練は、白百合学園への避難を想定し、今回は聖堂から非常扉迄全員が到達する時間を検証する。

① 避難誘導者は、8時ミサは上林さん、10時ミサは辻垣さん

② 非常扉へ到達した人は順次帰宅してよいとする。

③ 訓練結果を検証し、課題があれば改善を検討する。

#### 2. 2024年度研修会入会申し込み者

1) 典礼奉仕者養成コース：Mさん、Sさん

2) カトリック入門講座担当者養成コース：Mさん

3) 求道者に同伴し、入信後も同伴し続ける信徒の養成コース：Iさん

3. 信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会が6月29日(土)カトリック平塚教会で開催されるので積極的に参加してほしい。

掲示板に案内をだした。

4. ブランチ神父は、7月1日～19日迄アイルランドに帰国する。7日と14日の主日は集会祭儀を行う可能性がある。

### □各部会からの報告

#### 総務部

1) 8月10～12日 雪ノ下教会中高生会が片瀬に宿泊することを検討中。6月10日に打合せ予定。

2) 教会施設利用の心得案(別紙)を作成。⇒委員会で承認。教会外の団体等が利用する場合の詳細を話し合った

#### 宣教司牧部

1) 湘南の美しい教会を巡る会 見学 1回目6月29日14:00、2回目は7月6日16:00。宣教司牧部で対応する。

2) 親松さんの「マリア観音」作成記録DVD上映会は6月16日(日)信徒会館1Fで10時ミサ後に開催予定。

#### 福祉部

1) 小さき花の園のボランティア活動に片瀬から5名参加。5月より活動開始。人数は足りたとのことで、一旦ボランティア募集は中止となった。

2) 夏の団体の合宿は4団体。7月18日から順次利用し、最終は8月7日。詳細日程は事務所に掲示する。事前準備として7月上旬に信徒会館の清掃・バルサンを予定、協力者を募集する。

## 教会学校

- 1) 第5地区教会学校 協賛金 5,000 円、運動会参加費 2,100 円(子ども7名×300円)を支払った。
- 2) カトリック教会学校・その他行事障害見舞金制度 2024年6月1日～2025年6月1日 保険料 18,000 円程継続したい⇒委員会で承認

## 市内キリスト教連絡会

平和のための合同祈禱会 開催日時：8月3日(土)14:00～  
開催場所：教団辻堂教会(候補) 説教者：教団辻堂教会 白鳥牧師  
また、既に今年の市民クリスマスの話がでてきている。

## 営繕

現在の工事状況

- 1) 多目的トイレ交換工事 4月21日完了
  - 2) 火災報知器、ガス漏れ感知器設置 5月11日完了
  - 3) 外流し詰まり改修工事 5月22日完了
  - 4) 門扉鍵交換工事 5月30日完了
  - 5) 司祭館出窓が落ちそうになっているため改修工事の検討を始める。
- 以上、予算計画に入っていない工事が発生しているため、営繕費用の見直しを行う。

## その他

福祉団体応援マーケットを6月9日開催。20団体参加予定。前日、当日の準備手伝いを募集する。6月2日に手伝いの人達に説明会を予定。

### □ 検討・決定事項

1. カトリック信徒傷害見舞金制度 2024年6月1日～2025年6月1日分  
保険料：21,000 円(25 円×844 人)の継続 ⇒ 委員会で承認
2. 賛歌を歌うよう典礼、聖歌隊中心に準備を進める。信徒が持つ楽譜はコピーで作成する。
3. オルガンメンテナンスを6月予定する。 次回委員会開催 6月16日

## ◆お知らせ◆

○7月9日(火)19時より、片瀬教会にて「テゼの祈り」が開催されます。コロナ禍以来、数年ぶりに当教会での開催となります。いつもの聖堂も、夜、わずかなろうソクの光の中での祈りは、神との一体感を増し、ギター伴奏により、いつの間にか自然に聖句を口ずさむことができます。そして、黙想は神との対話の時です。

いつもとは異なるスタイルで、キリスト教一致の願いを込め、世界の連帯と平和を祈ってみませんか。どうぞ、多くの皆様の参加をお待ちしています。

# 横浜司教区のヴィジョン

教会委員長

5月15日は梅村司教様の銀祝でしたが、丁度3日前に片瀬教会で堅信式を司式して頂く機会があり、小教区としてもお祝いをする事ができました。司教様への祝辞に述べましたように、司教様は着座後すぐに司牧書簡「交わりとしての教会をめざして」を著され教区のヴィジョンをお示しになりました。この司牧書簡は昨年信徒の皆様様に配布し、久我神父様の指導により読み合わせを行ったのでご存知でしょう。

このヴィジョン「交わりのなかの交わり」あるいは「一致のなかの一致」は深い意味があり、キリストと教会の一致、司祭・修道者・信徒の一致を求めていくものです。このヴィジョンを育てていくために、この25年間、共同宣教司牧や共同宣教サポートチームの分かち合い、養成コース等を育ててきました。司教様には、共同線宣教サポートチームは私が以前いた東京大司教区をはじめ他の司教区にはないもので、横浜教区の財産でしょうとお話しました。

多くの司祭・修道者・信徒が時間をかけて内容を充実させてきています。今、第5地区共同宣教司牧委員会でも再度原点に立ち返り、司教様が著されてきたいくつかの書簡の読み合わせを行い分かち合いを行っています。一致する中に聖霊が下って来ることを感じ、その時は感謝の気持ちがこみあげてきます。



## 堅信の秘跡

5月12日主日のミサで、梅村司教様司式により4名の受堅者が堅信の秘跡を授けられました。

片瀬教会は3年ぶりという司教様は、この度銀祝(25年)を迎えられ、厳粛な中にも晴れやかな式が執り行われました。司教様からは、主の昇天に基き、イエスが弟子たちの裏切りを決して非難しなかったことに触れ、聖霊を通して愛の素晴らしさと慈しみを心に刻まれるお言葉を頂きました。また、フランシスコ教皇様が身近に感じられるようなお話もお聞きすることができ、最後に4人の若き堅信

者には記念のメダルが贈呈され式は幕を閉じました。

ミサ後信徒会館で堅信のパーティーで梅村司教様は4人の堅信者とお祝いの乾杯し、集まった信徒達と楽しそうにお話された後、梅村司教様の銀祝のお祝いが和やかな雰囲気の中で行われました。4人の受堅者からメッセージをいただきました。

## 「堅信を授かって」

クララ T.R.

「堅信」という言葉は、前から耳にしていましたが、どんなものか詳しくは知りませんでした。でも、実際に学んでみると、とても大切な事なんだな、と分かってきました。

当日はとてもドキドキして、心配だったのですが、そんな心配もほどけて、気持ちよく終わることが出来ました。その後、沢山の方々にお祝いの言葉を言って頂き、とても嬉しかったです。これからも、この感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

## 「堅信の喜び」

セシル K.M.

7つの秘跡の中の1つの堅信の秘跡を5月12日に梅村司教様から按手と聖香油を額にしるして頂きました。

2017年8月13日にマリオ神父様より洗礼のしるしを受け、2018年6月3日にパスカレーレ神父様より初聖体のしるしを受け、洗礼から7年後にブランチ神父様のもとで堅信のしるしを受ける事が出来た喜びが今となりました。

式までの間、母の代母である丸田さんからの学びとして、カトリック者として信仰をより深く多くの人々に神様の大きな恵みや喜びを与える事が出来るように神様と向き合い成長出来ますように、これからも私の事を見守って頂けたら嬉しいです。

最後に、代母の愛梨ちゃん。これからも私の霊的指導者として一緒に歩いてくれたら嬉しいです。

## 「堅信式を終えて」

マリア アヌンツィアータ A.Y.

今回無事に堅信式を終えることができたことに感謝しています。私は1歳の頃に幼児洗礼を受けました。物心がついた頃には教会に通い、自分が信者であるという認識はありました。また、私は幼稚園からミッションスクールに通っ

ており、聖書について学ぶ機会は多くありました。しかし、今まで信者とは何なのか、堅信の秘跡を受けることで何が変化するのかについては曖昧な認識しかありませんでした。

そのため、今回の堅信は改めて神様について、キリスト教について学ぶことができた大切な機会になりました。また、今回のお勉強会で世界的に教会離れが進んでいるという話を伺いました。小さい頃から教会学校や御ミサで教会に通っていた私はこの現状をととても悲しく感じました。一同が一つの場所に集まってお祈りをしたり、一緒にお祝いをする。そのような環境がなくなってしまうことはキリスト教の信者としても悲しいことですが、そこでできたコミュニティや交流関係はとても大切なものだと感じています。

堅信を迎えるにあたって参加したお勉強会や堅信式を終え、聖霊を感じ、神様をより近くに感じることができました。これから、神様から派遣された者としての自覚を持ち、愛を持って過ごしていきたいと思います。

## 「天分」

サラ マリア K.S.

「天と地の創造主」「三位一体の神」「全能の神」等、神様を表す表現は、沢山あります。どれも事実ですが、「全能の神」という表現が、常に、私の心に留まっています。

唐突ですが、皆様のお好きな日本語は、何でしょうか。私の好きな日本語は、「天分」です。誰にでも、素敵な部分がある様に、全ての人が、天分を持っていると、私は考えています。マタイによる福音書の、「タラントの喩え」の様に、五タラント預かった人もいれば、二タラント預かった人や、一タラント預かった人がいる事と同様だと、私は考えています。自分が預かった天分の大きさが周りとは異なっても、自分の預かった天分が他の人よりも少ないように思っても、どれも貴重な財産という事には変わりはありません。重要な事は、五タラント預かった人と、二タラント預かった人の様に、「預かったタラント(天分)を、活用する事」なのではないでしょうか。一タラント預かった人は、活用せずに土に埋めてしまい、叱られる結果となってしまっています。主人は僕に、財産をただ預かって欲しかったのではないと、私は考えています。主人は、僕の独自性を鑑みて、僕にしかできない方法で、活用して欲しかったから、僕に預けたのだと、私は考えています。

また、タラントは貨幣ですので、預かっている間に、失ってしまう可能性があります。ですが、全能の神様から預かった天分は、失うことのない財産です。失う事がないのであれば、怖がる必要はなく、土に埋めずに、活用することができます。

ると、私は考えています。また、資本を得る事のみが利益なのではなく、周りの人のほほえみこそが、本当の利益だと、私は考えています。全能の神様から預かった天分を活用し、何倍にも愛を拡大する事が、私達に求められているのではないのでしょうか。



## 聖霊降臨の主日のミサ

聖霊は、諸国のことばの違いを越え、人々を一つの聖なる信仰のうちにお集めになり、教会の誕生となりました。

5月19日、聖霊降臨の主日を迎え、改めて聖霊によって、私たちそれぞれに授けられた賜物(才能)を顧み、感謝しました。神父さまは説教の中で、それぞれの賜物を教会共同体の中で、大いに活かし、伸ばして行って欲しいと仰いました。

続いて洗礼式が行われました。新しい仲間が共同体の一員となり、次のようなメッセージが届きました。

## 同行二人\*—アッシージの聖フランチェスコとともに—

フランチェスコ K.N.



宰相ヨセフ、イエス様、そしてアッシージのフランチェスコ。皆、幼い頃の私の親しい友人です。毎週土曜日、幼稚園のお話の時間で、「創世記」からパウロの宣教の旅までの聖書物語や聖人伝を聴いたものでした。ヨセフが人買いに売られた時には彼の身を案じ、カナの婚礼で、イエス様の粋な計らいに、幼な心ながら、愛のあり方を知り、野の鳥たちがアッシージの聖フランチェスコに耳を傾けたエピソードに驚愕したものです。

幼い私は、また、毎週ミサに参列していました。神父様のお説教の中で、ダニエルの夢解きが映画のワンシーンのように印象に残っています。カルデア国王ネブカドネザル2世が見た摩訶不思議な夢。「[夢の中に現れた]巨像は、頭は黄金、胸と腕は白銀、腹と腿は青銅、脛は黒鉄、足は一部が鉄・一部は陶土でできていた。」これらの鉱物は、カルデア王国以降出現する超大国であり、最後には地上の国は滅び去る。そして、メシアによって永遠の国が打ち立てられるとダニエルが解き明かすのです(「ダニエル書」2-24~39)。

当時、TVでは『トンデラハウスの大冒険』をはじめとするタツノコ聖書三部作(テレビ東京のアニメ)が再放送されており、子どもでも旧約・新約聖書に容易にアクセスできたものでした。例えば、神様の御心から外れたサウル王がペリシテ人に大敗した結果、自刃したシーンに顔を背けました(「サムエル記上」31-1~5)。イエス様に出会うアニメの主人公の子どもたちとともに、ローマの官憲に引き渡されるイエス様を何とかできないのかと歯がゆく思ったものです。

しかし、中学受験を控えた私はミサに参加することもなくなり、毎晩となえていた「主の祈り」も「アヴェ・マリア」もいつしか遠い記憶の彼方へ遠のいてしまいました。いつしか、神様に想いをいたすことも、イエス様の<sup>かんなんしんく</sup>艱難辛苦に寄り添うことも、山百合をみても「マリア様のこころ」を思い出すこともなくなってしまったのです。

時は流れ、去年の秋、たまたま片瀬教会のバザーに何げなく立ち寄ったところ、職場の上司であったA先生と久方ぶりの再開をしたのでした。「カフェつみびと」でコーヒーを振舞っていただきながら、近況をお話する中で、公私両面スランプ続きで、心身ともに消耗し、陰陰滅滅であった私に、一筋の光明がさしたのです。今こそ洗礼を受けて、神様の御旨に従うべきではないか。このアイデアが閃光のように脳裏をよぎったのでした。

この後の展開はまさに「求めよ、されば与えられん。尋ねよ、されば見出さん。門をたたけ、されば開かれん」(「マタイによる福音書」7-7~12)の言葉通り



に、とんとん拍子にことは進んだのです。片瀬教会のコミュニティの方々のご助力とご支援を得て、ブランチフィールド神父様から受洗のレクチャーを受けることができました。毎週日曜日に、カテキスムだけにとどまらない「お祈りとは」、「神様を信じることは」、「悲愛<sup>ミゼリコルディア</sup>について」といった多種多様なテーマをマンツーマンで教えていただき、5月19日のペンテコステ(聖霊降臨の主日/五旬祭)で、洗礼・堅信の秘跡にあずかることができました。この場をお借りして、神父様をはじめ片瀬教会の皆様にご心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、教皇フランシスコ聖下のメッセージを紹介して、皆様とともに神様の悲愛<sup>ミゼリコルディア</sup>に感謝したいと思います。「神様を讃美して歌う数えきれない被造物の『宇宙の雄大なコーラス』を大いに楽しみましょう。その時は、『讃美されますように。わが主よ、あなたがお造りになったものたちとともに』(アッシージの聖フランチェスコ「太陽の讃歌」)アッシージの聖フランチェスコ〔の声〕に合わせて〔讃美の歌を歌いましょう〕。」(教皇聖下メッセージ2022.9.1)

※同行二人とは、お遍路さんがいつも弘法大師空海さんと一緒に四国八十八ヶ所巡礼をしていることを指す言葉。



## 5月26日の津波避難訓練報告

防火管理者

津波避難訓練においては、ご協力有難うございました。訓練の状況を報告させていただきます。8時のミサは約45人、10時は約85人聖堂にいました。最初の地震対応はできていたと思いますが、出来るだけ身を低くして頭の高さをベンチより低くすることを心掛けて下さい。避難の所用時間は、8時は1分45秒、10時は4分かかりました。足の悪い方がおられ教会の車椅子で対応しましたが、このような方を取り残さない様、お互い助け合って避難するよう心掛けたいものです。避難行動の改善に結びつけていきたいと思いますので、今回の訓練で気になったこと、気が付いた点を教えてください。

## ガーデニングサークル バラの遠足

K. N.

5月17日、爽やかな五月晴れの日、ガーデニングサークルのメンバー6名の方々と平塚市の「花菜ガーデン」バラ園にご一緒させていただきました。「ガーデン内混雑」という事前の情報でしたが、無事駐車場に到着。まずは、ガーデン内レストランで腹ごしらえをしいよいよバラ園に向かいました。

バラの種類豊富さは想像以上で、メンバー皆が感嘆の声をあげながら園内をめぐります。香しいかおりを放つ黄色いバラ、可憐な一重咲きのもの、初夏の青空に映える色とりどりのアーチ仕立て、鮮やかな深紅の大輪、一本の茎からまるでブーケのように沢山の花を付けたバラ等々。

途中咲き乱れるバラの前で記念写真を撮っている私たちを見ながら「バラよりきれいですよ〜！」と声を掛けられながら通り過ぎる人たちがいたり、勿論「単なるご挨拶」と分かっていると思わず顔が緩みます。美しい花々に囲まれていると、皆さん笑顔で心優しくなるようです。豊富なバラたちを存分に満喫した私



たちはこの素晴らしいバラ園を守って下さっている作業員の皆さんに感謝しながらガーデンを後にしました。

そして片瀬教会のガーデンも、益々笑顔と優しさが生まれる花園になりますように…。

### ガーデニングサークル メンバー募集

教会の花壇をお花でいっぱいにしましょう。一緒にガーデニングを楽しみませんか？ できる時にできることを…をモットーに、のんびり楽しく活動しています。皆様のご参加をお待ちしています。

連絡先：奥田泰子

片瀬教会ガーデニングの花々  
紫陽花 ルピナス 百合



## 2024年6月

☆教皇の意向：祖国から逃れる人々

戦争や飢餓から逃れ、危険と暴力に満ちた旅路を余儀なくされた移民が、受け入れ国で歓迎され、新しい生活の機会を見出すことができますように。

☆日本の教会の意向：病に苦しむ人たち

キリストの犠牲に合わせて、病の苦しみを捧げる人たちが、キリストが与えてくださるいやしの恵みにあずかることができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

## ☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
6/1 土	聖ユスチノ殉教者 記		
6/2 日	✠キリストの聖体(年間第9週)	8:00 10:00	
6/3 月	聖カロロ・ルワンガと同志殉教者 記		
6/4 火			
6/5 水	聖ポニファチオ司教殉教者 記		聖書と典礼を読む会 10:00
6/6 木			まりあ食堂
6/7 金	✠イエスのみ心	9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
6/8 土	聖母のみ心 記		
6/9 日	年間第10主日	8:00 10:00	福祉団体応援マーケット
6/10 月			
6/11 火	聖バルナバ使徒 記		
6/12 水			聖書と典礼を読む会 10:00
6/13 木	聖アントニオ(パドバ)司祭教会博士 記		
6/14 金		9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
6/15 土			
6/16 日	年間第11主日	8:00 10:00	教会委員会 福祉バザーはお休み
6/17 月			
6/18 火			
6/19 水			聖書と典礼を読む会 10:00
6/20 木			
6/21 金	聖アロイジオ・ゴンザガ修道者 記	9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
6/22 土			
6/23 日	年間第12主日	8:00 10:00	第5地区共同宣教司牧委員会 15:00 大船教会
6/24 月	✠洗礼者聖ヨハネの誕生		
6/25 火			
6/26 水			聖書と典礼を読む会 10:00
6/27 木			
6/28 金	聖イレネオ司教殉教者 記	9:30	ミサ後、キリスト教入門講座
6/29 土	✠聖ペトロ聖パウロ使徒		湘南の美しい教会を巡る会見学 16:00
6/30 日	年間第13主日	8:00 10:00	

今年の復活節を過ぎ、司教様をお迎えしての堅信式も終わって、一息ついた感があります。「今年の行事は後、バザーとクリスマスかぁ。」とされている方は、大事なことを見落としていませんか。行事が少ない今の季節が私たち教会の本来のことを考え、行動する絶好のチャンスなのです。教会が一つになって歩む、シノダリティを考える、そのためにコミュニティで集いをしているかと思えます。私たちの救いは、個人の救いではありません。全人類の救いを求めているのです。それには、キリストが与えて下さった掟「互いに愛し合いなさい。」をどう現実的なものにしていくか、私たち一人一人に問われているのではないのでしょうか。

ある信徒の方が、5月19日に藤沢教会で行われたシノドスに関するSr.西村桃子の体験をテーマにした講演会を聴いてとても感銘を受けたと仰っていました。

資料を頂きましたが、霊における対話として、共に歩むことが分かりやすく表されています。頭で考えるではなく、知識でもなく、お互いの心を開き、ともに形づくっていくことです。Sr.西村の講演はYouTubeでも配信しているとのことですので、コミュニティで集まって一緒に見、そして分かち合ってもいいかと思えます。7月には片瀬で「テゼの祈り」も行われる予定です。この際、信仰の根っこを見つめ直しましょう。

片瀬教会で葬儀を希望される方へ  
葬儀社は必ず岡村葬儀社に依頼して下さい。

片瀬教会専属葬儀社

岡村葬儀社 TEL0467-91-0919

片瀬教会典礼部葬儀担当

2024年6月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>